



赤羽別院報 第33号

発行所 真宗大谷派 赤羽別院 親宣寺
〒444-0427 愛知県西尾市一色町赤羽上郷中14
Tel・Fax (0563) 72-2308
Eメール akabane_betuin@katch.ne.jp

念仏者は無碍の一道なり



親鸞聖人は、9歳で衣を着られ90歳まで着ておられた。私も父親が早く亡くなり...

積迎さまから法然上人の処まで教えが飛んでいるのではなく、龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信と脈々とした歴史の中で法然上人の処まで届き、上人がお説きになられた本願念仏の教えこそが、お釈迦さまが私達のために説いて下さった、一番中心の教えに違いないという確信です。

二番目は、いくら教えが真実であっても、それが人に伝わらなければ意味をなさないという事です。その当時、吉木の法然上人の元には大勢の人々が集っていました。貴族や侍や商人、あるいはホームレスから犯罪者たちも来ていたそうです。...

三番目は、法然上人ご自身が本願を信じ、念仏を喜ぶ生活をしておられることです。上人の生きる姿勢、その姿を見て「私は法然上人について行くよりほかはない」と慕われ、この人についていこうと決断されるのです。

もし、上人のおっしゃられた事が嘘偽りで、地獄に落ちるようなことになったとしても後悔することはない。それ以外に私の進むべき道はないのだから、ということが29歳の親鸞聖人におこころです。

三次的評価 親鸞聖人が行ったこの三次的評価を学校という場で考えると、一つの例でいえば数学を教えるにしろ、どれくらい正確に学べたかという事。そして、それをどれ程度応用することができるかという事。さらに、真面目にやっつての点数なのかいかげんにやっつての点数なのかという事です。日本の評価では、応用力も

「難行を棄てて本願に帰す」この言葉に出会い「もうこれ以上迷うことはない、法然上人のお説きになられている本願念仏の教えこそが、私の一番大切にしてなければならない教えである」と人生を見定め、法然上人の元へ行かれることを決意されたのです。

法然上人を信じて、上人について行くことを決めるには、次の3つのポイントをもってお決めになられたらと思います。

一番目は、教えの真実性という事です。法然上人がお説きになられている本願念仏の教えは、お釈迦さま以降の仏教の歴史をしっかりとみたらうえて、この教えこそが真実の教えであり、お釈迦さまが最も伝えたかった教えであるということです。

二番目は、いくら教えが真実であっても、それが人に伝わらなければ意味をなさないという事です。その当時、吉木の法然上人の元には大勢の人々が集っていました。貴族や侍や商人、あるいはホームレスから犯罪者たちも来ていたそうです。...

三番目は、法然上人ご自身が本願を信じ、念仏を喜ぶ生活をしておられることです。上人の生きる姿勢、その姿を見て「私は法然上人について行くよりほかはない」と慕われ、この人についていこうと決断されるのです。

無碍の一道とは、本当に出合った事の全てを戴くということです。人生の早送りボタンを持つと、期待している事は早く見えてくる。嫌な事は早く通り過ぎて欲しい。大事な事は早く送りボタンを押す。早く送りボタンの必要のない人生を送ることが念仏者であり、無碍の一道なのです。

除夜の鐘(初鐘) 12月31日(日) 午後11時30分より
先着順に当たっても鐘撞きできます。
甘酒・汁粉やお菓子等を用意してお待ちしております。是非お出掛け下さい。

別院行事のご案内

親鸞聖人は、9歳で衣を着られ90歳まで着ておられた。私も父親が早く亡くなり...

積迎さまから法然上人の処まで教えが飛んでいるのではなく、龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信と脈々とした歴史の中で法然上人の処まで届き、上人がお説きになられた本願念仏の教えこそが、お釈迦さまが私達のために説いて下さった、一番中心の教えに違いないという確信です。

二番目は、いくら教えが真実であっても、それが人に伝わらなければ意味をなさないという事です。その当時、吉木の法然上人の元には大勢の人々が集っていました。貴族や侍や商人、あるいはホームレスから犯罪者たちも来ていたそうです。...

三番目は、法然上人ご自身が本願を信じ、念仏を喜ぶ生活をしておられることです。上人の生きる姿勢、その姿を見て「私は法然上人について行くよりほかはない」と慕われ、この人についていこうと決断されるのです。

無碍の一道とは、本当に出合った事の全てを戴くということです。人生の早送りボタンを持つと、期待している事は早く見えてくる。嫌な事は早く通り過ぎて欲しい。大事な事は早く送りボタンを押す。早く送りボタンの必要のない人生を送ることが念仏者であり、無碍の一道なのです。

除夜の鐘(初鐘) 12月31日(日) 午後11時30分より
先着順に当たっても鐘撞きできます。
甘酒・汁粉やお菓子等を用意してお待ちしております。是非お出掛け下さい。

別院行事のご案内

一年に一度は赤羽別院へ

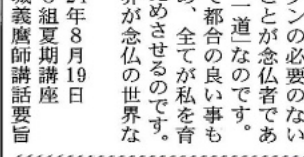
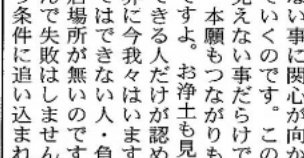


Table with 2 columns: Date/Time and Location/Event. Includes items like 春季彼岸会, 法話, 報徳会, 晨朝法話, 真宗講座, 声明研修会, 無碍の一道.

謹賀新年 年頭のご挨拶



赤羽別院輪番 浅野 怜

りました。昨年十月、輪番就任以来六回目で、私にとって最後となる報恩講を、有縁の方々のご支援により、大柄なく厳修できましたことはこのうえない喜びであります。

本年九月十日までの残任期間を、これまで崇敬区域の皆さま方と構築してきた「赤羽地域教化センター」の更なる充実・発展を願って、若手のスタッフや寺族の育成に邁進していきたく思います。

具体的には、近い将来、各寺院で執り行われると思われ「宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌」の法要を念頭におき、現在儀式部が取り組んでいる、寺族を対象とし、なかでも若院が中心の儀式作法や声明の

修を通して実践すべきである「という信念で取り組んで参

研修・研鑽会の充実を図りたいと考えています。また、昨近囁かれています「若を問わない宗教離れ」をどう切り抜けるのか、更に、若い人達にお寺や教化センターに足を運んでもらうにはどうしたらよいか等、教化センターとして「土徳」の任をどう果たすべきかという大きな問題にも対処していきたくと考えているところでもあります。

本件については、現在、伝道部において四十歳以下の寺院を対象とした研修会、仮称「ファンター・フォーティー」の実施についてプロジェクトチームを作って、慎重な検討が重ねられています。

これらの事業の取組みに必要な財源については、教区からの助成継続は承諾を得ましたが、皆さま方の特段のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。新春のご挨拶とさせていただきます。

宗門の長い歴史において、地域教化の中心として設立され、護持されてきた別院は、社会情勢・交通事情の変化、或いは一般寺院との関係の変化等の諸条件により、教化・財政の両面において「別院敷差」が生じている。

別院問題研究会の動行

別院問題研究会

「別院問題研究会」は、別院機能の活性化と現代における教化拠点としてのあり方、また地方宗務機関の再編成を目的とした、教区及び組の改編と関連する問題を検討するに当たり、各別院の実態調査や抱える課題の整理と研究を行うことを目的として、二〇〇八年五月組織部長の諮問機関として組織された。

別院をとりまく現況から、51別院を一律に論じるのではなく、六グループに類型化し、

研修・研鑽会の充実を図りたいと考えています。また、昨近囁かれています「若を問わない宗教離れ」をどう切り抜けるのか、更に、若い人達にお寺や教化センターに足を運んでもらうにはどうしたらよいか等、教化センターとして「土徳」の任をどう果たすべきかという大きな問題にも対処していきたくと考えているところでもあります。

岡崎教区ボランティアグループ 16名が仙台で活動



岡崎教区では、去る10月2日から三日間の行程で、東日本大震災の復興支援事業の一環として、ボランティアグループを仙台市にある東北別院のボランティアセンターに派遣した。一行は女性1名を含む26歳から63歳までの16名で構成され、赤羽別院崇教区からは4名が参加した。

現地への旅程と準備で初日は暮れたが、二日目は東北別院から南へ30キロの巨理町荒浜地区での夕食の炊き出し(等)に従事、みなし仮設住宅(半環などの事故住宅)など不自由な生活をされる方々に、五平餅・稲荷寿司や煮味噌を提供したり、皆さんと一緒に念珠の手作りを楽しんだ。

豊橋別院・真宗婦人会 一日研修でご来院



豊橋別院には「豊橋別院真宗婦人会」という、崇敬区内の婦人の集いがあります。この婦人会では、毎月別院に説教師を招いて、法話をいただく定例の法座が開かれていくほか、年に一度、教区内の寺院に参詣する「一日研修」が行われています。

熱心に聴講

ロックに分けて、グループ別協議会が開催された。(北ブロック)

平成22年1月、赤羽別院において、関西・中国・四国・九州地方の12別院で開催された協議会の内容を、小規模別院が進むべき方向の一例として

赤羽別院が取り組んできた、崇教区域の教化の拠点となる新しい別院のあり方を構築した「赤羽地域教化センター」の設立と現状について今までの取り組みと現状・今後の課題」と題して、経過説明と問題提起を赤羽の輪番が行った。

従来の別院機能を包含しながら、地域教化センターとしての組織づくり・人材の選任と育成・財源の確保等、教化センターを確立するための実

別院に関する委員会

二〇一〇年1月、宗務審議会次の二項について諮問された。

一、別院相互扶助の精神による経済支援体制の構築

別院相互扶助制度の趣旨は、別院の総合整備を円滑に進めるため、本堂等の大規模な営繕や災害時における復興支援を目的として、全別院と宗派で資金を積立て、無担保・無利息で貸出しを行う、真宗大谷派(仮称)「別院振興融通資金審査会」を設ける、

赤羽ブロック

去る9月27日、赤羽ブロック坊守学習会が開催された。

お彼岸も過ぎた崇教区域の多くの坊守さんが集まり、私たちに本堂に伝えたかったことは何かを話された。

「自分はうた」と思う心に欠けていっているのではないかと話されたが、この言葉こそ聖人が常に問題とされたことで、

坊守学習会を開催

仁師の講話テーマは「教異の心」で、唯円が「教異抄」を著すに到った心境と親鸞聖人が私たちに本堂に伝えたかったことは何かを話された。

「自分はうた」と思う心に欠けていっているのではないかと話されたが、この言葉こそ聖人が常に問題とされたことで、

「現代は心がけ次第で何とかなるという時代で、そこには人間の思い上がりがあり、我一人がかわいいということになっていく」と話された。

真宗で最も大切な仏事 特集! あちこちの報恩講



みんなで演奏・合唱
オカリナ演奏会 第14組寺 第14等 第14組寺 第14等

第14組平等寺では、11月10日、報恩講・初夜夜・故郷・証城寺の狸囃子の修行と法話に引き続いて、オカリナの演奏会が開かれました。本年度7回目となる取り組みです。毎月1回、斉藤正住職を含む13名が先生を招いて練習を重ねており、この日はこの内11名がキーボードのリードで、大小様さまのオカリナを巧みに演奏されました。

今年の演奏曲は、紅葉・故郷・証城寺の狸囃子・夕焼小焼など昔懐かしい小学唱歌から北国の春まで全11曲で、本堂内に入りきれない程の大勢の参加者が、演奏に合わせて大きな声で楽しそうに合唱される姿を見ることができました。

「報恩講にお参り下さった方々が、共に歌い・笑顔になれる場となれば何よりです」と住職は話されました。

最後に、オカリナの心地よい音色に合わせ「恩徳讃」が斉唱され、演奏会は幕を閉じました。

満堂の参加者の満足感に溢れた表情を見るにつけ、「ご門徒さんに限らず地域に密着したお寺の姿を実感することのできた報恩講でありました。」

秋晴れの好天に恵まれた10月14、15、16日の3日間におき、赤羽別院では報恩講が厳修された。

真宗門徒にとって最も大切な仏事は「報恩講」である。年に一度は御同朋御同行が力を合せてお勤めする。報恩講があるからこそ真宗寺院であるといえる。

今回の報恩講には、門徒会・助音講や坊守さんをはじめとして、三日間を通して二〇〇名を超す大勢の方々のお参りを戴いた。

報恩講をお勤めするに当

老若男女が 総力を結集して厳修

秋晴れの好天に恵まれた10月14、15、16日の3日間におき、赤羽別院では報恩講が厳修された。

真宗門徒にとって最も大切な仏事は「報恩講」である。年に一度は御同朋御同行が力を合せてお勤めする。報恩講があるからこそ真宗寺院であるといえる。

今回の報恩講には、門徒会・助音講や坊守さんをはじめとして、三日間を通して二〇〇名を超す大勢の方々のお参りを戴いた。

報恩講をお勤めするに当

赤羽別院



つては、おみがきに始まり、境内・御堂・庫裡の掃除、お華東作り・仏華・お斎の支度等多くの方々のお力添えがなくてはなりません。

そのなかで10月10日には、若いお寺さんの発案により、教化センタースタッフを中心に集まり、清掃作業が行われた。

日頃手の入らないガラス拭きでは、台風の雨水により泥だらけになった窓ガラスが、御堂から書院にいたるまでピカピカに磨きあげ

られた。

特に、若いスタッフが一、生懸命に掃除をしている姿を見るに、地域に密着した赤羽別院を見る思いであり、頼もしい次世代が育ちつつあることを実感できた。

法話の初日は補理見師・二日目に松林了師・三日目に羽向智洋師をお迎えして、普段の私達の生活のありさまを、仏様の教えに照らし合わせての有難いお話をお聴きください。

このようにして全ての莊厳が整ったが、もう一つ大切なのは講師のお話にもあったように「声」である。お勤めの声・念仏の声、これら大切な莊嚴であり、お内陣のお寺さんと併せた参拝者一同によるお勤めは、御堂いっぱい響きわたる厳かなものであった。

境内には模擬店が設けられ、その旨を偲ばせるなかに、仏土に生きるありがたさを感じる報恩講であった。

仏教讃歌を合唱 音楽法要

第11組寺 第11恵



秋の深まりとともに、あちこちのお寺で報恩講が厳修されるなか、去る11月17日に西尾市羽塚町の恵教寺を訪ねた。

当日は、小雨の降る肌寒い日であったが、初夜夜のお勤めと御伝鈔の拝読に続き、恵教寺による音楽法要が催された。

恵教寺は、平成15年に本堂・諸殿の落慶を機縁として、住職の熱い思いに込めた門徒婦人有志が中心となって結成されたものである。

現在は、約40名のメンバーが月2回の練習に集まり、地域の祭典や教区のコーラルパーとの交流にも参加するなど、積極的に活動されている。

この日は、男性4名を含む23名の団員が、重なる20曲を披露された。

このように、昨今では合唱や楽器演奏など音楽をとり入れた報恩講をお勤めする寺院が多くなり、山当でも、仏教讃歌を通して若い世代に教えを伝えていることとする。住職夫妻の意気込みを感じる報恩講であった。

真夏の楽しい思い出 お寺に泊まる

第11組寺 第11恵

6回目となる第11組・浄賢寺が取り組む、夏休みの子供のお楽しみ「お寺に泊ろう」は、8月22・23日の両日地域の3年生以上の男女小学生が参加して盛大に行われた。

当初は「遊びを通して適正な人間関係の形成」を目的として、青年会議所の事業として始まったが、今ではこの趣旨に賛同された住職が、仲間のお寺さんの協力を得て「夏休みの子供行事」として定着している。

初日の午後、三三五五寺に集った70名の子供たちは、全員参加で作った夕食のカレーライスに舌鼓を打った後、幾つかのグループに分かれ、スグル・肝だめし等の楽しいひと時を過ごし、本堂と庫裡に別れて雑魚寝の合宿となった。

翌朝、眠気眼をこすりながら、住職の調声により正信偈をお勤めし、境内清掃を行い、朝食をとった後でプールに出掛け、水遊びを楽しんだ。

このようにして、合宿の楽しさを充分に満喫し、一人の落伍者もなく皆が満足感に溢れた笑顔のなかで全ての行事を終えた。

この催しには、以前この会に参加経験のある中・高校生のお兄さんやお姉さん10名・住職と同志の若いお寺さん数名が協力されていたが、常に子供たちが主体となった運営がされており、大世帯の子供行事として格別のまとまりの良さが見られたことが特筆される。



一年に一度は赤羽別院へ

一年に一度は赤羽別院へ

帰敬式をおかみそりとは、生前に「釈」の字を冠した二字の法名をいただきお釈さまの弟子として、仏の教えに生きる生活をはじめめることを証す真宗の儀式であります。法名(真宗では「戒名」とはいいません)は、本来生前にいたくもです。

赤羽別院では、左記により御連枝様執行により帰敬式を行います。

あなたも受式しませんか!

一、期日 平成25年4月11日
一、場所 赤羽別院 お御堂
一、冥加金 二万円

詳細については、赤羽別院またはお手次の寺院にお尋ね下さい。

◆ 崇敬寺院の新住職

第8組・福正寺 本多 友明師
平成24年9月28日就任
「ひと言」宗祖の教えを聴き直し、法を抛りどころとして、ご門徒さんとともに歩んで参ります。

第9組・正尚寺 大谷 正浩師
平成24年10月28日就任
「ひと言」一人では始めることも続けることもできません。御支えにつくづく感謝しつつ、精一杯務めて参りたいと思っております。

第11組・恵琳寺 小栗 信師
平成24年10月28日就任
「ひと言」住職としての責任の重さを考えると身が引き締まる思いです。一生懸命ご門徒の皆様とお念仏の教えを聞いていく所存です。

法衣 / 袈裟 / 打敷 / 念珠 / 幕 / 記念品

京 合資会社 縫源法衣店
真宗大谷派 法衣・御稚児貸衣装

〒460-0015 名古屋市中区大井町1-39
TEL (052) 321-4965
FAX (052) 323-9559

バスで行く、つるぎのひとときを...

ドラゴスバツク

MEITETSU KANRO BUS

名鉄観光バス

西尾支店 TEL (0563) 57-2062
蒲郡支店 TEL (0533) 68-6141

まごころ込めておつくりします

総本家五代目
仏壇仏具
製造販売
洗い修理

吉崎礼二郎
仏壇二郎

愛知県幡豆郡色町大字赤羽別院
電話 0563-371857

門徒会研修 白鳳瓦株を訪問

第10組 門徒会

平成24年9月26日、岡崎地区第10組では碧南市の白鳳瓦株式会社を訪問し、門徒会研修会を実施した。

同社では、真宗本願御影堂に引き続き、平成28年末の阿彌陀堂修復完遂に向け、新調瓦の製作が丁寧かつ確実に進められていた。

毎年六月、志貴野製瓦場記念碑保存会により、明治瓦製作当時の先人の偉業を顕彰するなか「法義相統・本願護持」のおこころに触れるべく、記念碑前で法要が営まれている。

同社代表の杉浦速雄氏は、「明治の瓦は日本建築史のなかでもすごい瓦。小僧さんが注意して触り状態を観て仕事をしていた。瓦と一緒に生活していないと出来ない仕事」と語られた。



研修会のようす

門徒の声 最後の親鸞さまを訪ねる

九月六・七日に、同級生三人で最後の親鸞聖人ゆかりの地巡りをしました。「居たが浜」先ず訪ねたのが「居たが浜」でした。念仏一門の弾正のたぬ親鸞聖人は越後入流罪となり、京都から六百キロのこの地に上陸されました。

浜辺の台地の広場にある、「親鸞聖人居たが浜上陸の図」と題されたレリーフには、共に従った僧二人も描かれ、厳しかった当時の様子がかがわれます。居多ヶ浜記念堂では留守居の老女の心温まる接待を受けること、越後の自然の厳しさも伝え聞きました。

次に聖人が越後で最初に住まれた国府の国分寺に行きました。現在は天台宗の一寺院ですが、この境内に聖人の住居であった「竹之内草庵」があったそうです。その跡地には石碑もあり、聖人自らが刻んだといわれる御自刻御真影座像が安置される「親鸞堂」がありました。

次に訪ねた「竹之前草庵」は、聖人が恵信尼さまと結婚生活を営まれたといわれています。さらに、光源寺・常敬寺・三条別院・新井別院・高田別院・二十四聖の寺院で無為信寺と西照寺に参詣しました。最後に「恵信尼公廟所」にお詣りしました。水田の中で比丘尼華と呼び伝えられる五輪塔が発見され、これが恵信尼公の墓に違いなしとして整備されたものです。

この越後を訪れ、門徒として真宗の教えである「報恩・感謝」の気持ちより強く感じつつ帰路につきました。第9組・正覺寺門徒 杉山 巧(釈無職)

本山堂衆をお招きして 声明作法研修会を開催

過11月1日、儀式部では儀式作法研修会を第14組・西方寺本堂を会場にして開催しました。

この研修会は、一昨年本山において盛大に厳修された「一宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌」が、今後別院や崇敬寺院での「御遠忌法要」へとつながっていくこの時期に、寺院が法要の心得を学ぶため企画されました。

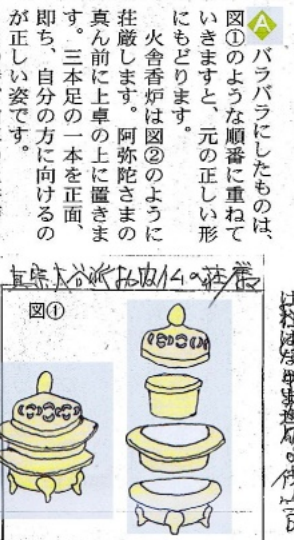
当日は、寺族50余名が参加し、本山堂衆の坂谷学稱師より、出仕作法を中心に模擬法要の形式で、実際に動作をしながらそれぞれ配役の細かな動きを指導いただきました。

五十年に一度の「御遠忌」は、寺族にとっても経験する機会が少ないうえに、慣れない作法も多いため、講師がお手本を示される際には、些かも見逃がさないよう参加者の真剣に左右に移し、印象的な研修会でした。

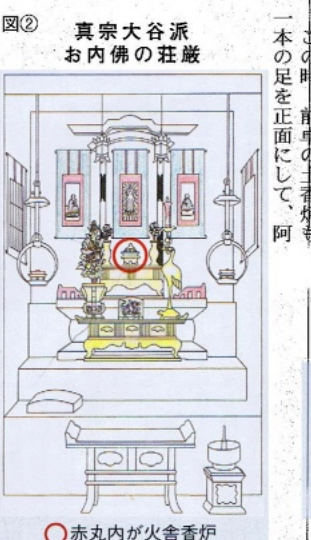


作法研修のようす

◆ 仏事 ◆
お内仏に火舎香炉がありま。おみぎの時にバラバラにしたのですが、本来の形が分からなくなってしまうので、どのようにしたら良いのでしょうか？



図①



図②

赤丸内が火舎香炉

御坊俳壇・川柳
俳句 (原不問) 蓮沼たけし 杉浦 小冬 水頭うた子 石川 松葉 名倉美枝子 岡部美枝子 石橋 行子 加藤 久子 鈴木いほ 鎌田 晴枝
川柳 (原不問) 藤の上 まんま、ずると 数珠せがむ 井上 啓子 古希すぎ、極楽浄土 気に掛かり 佐藤 哲也 橋田を 列れば如何と 貧乏性 稻山みどり
次回 締切り、2月10日 奮って 一人につき3句まで 投句下さい。

御懇志披露
赤羽御坊新聞懇志(敬称略)
・ 妙壽寺同行中
・ 嚴西寺同行中
・ 嚴西寺同行の会
貴重なお懇志を
ありがとうございます

お寺の掲示板
悩みや苦しきは 救いの花のつぼみです
第9組 仏費寺

赤羽地域教化センターウェブ
http://www.katch.ne.jp/~akabane_betuin/
仏事で困ったら...
携帯からのアクセスはQRコードから
お寺の法語掲示板をみてみよう

編 集 室
新年を迎えるにあたり、宗教区内では多くの寺院において除夜の鐘(初鐘)や修正会が行われています。除夜の鐘は、百八つあるといわれる煩悩を除き新年を清らかに迎えようとするもので、真宗の教えには適いませんが、普段はお寺に足を運ぶことの少ない若い人たちの姿もみられ、地域の皆さんと触れ合うことのできる貴重な行事の一つとなっています。大晦日には、家族や友人とお寺巡りをされるのも良いのではないのでしょうか。編集室スタッフの任期も折り返し点を過ぎました。これまで紙面の大半をスタッフの取材記事により構成して参りましたが、向後は、できるだけ寺院や門徒さんからの投稿記事を増やしていきたいと考えています。編集室から寄稿のお願いをすることなどのご理解・ご協力ををお願い申し上げます。勿論、投稿は大歓迎です。